２０２５年（令和７年）　１０月１０日　金曜日

デーリー東北　１２面　掲載

センバツ懸け熱戦幕開け

秋季高校野球 東北地区大会

第78回秋季東北地区高校野球大会は９日、岩手県の花巻球場（花巻市）ときたぎんボールパーク（盛岡市）で開幕し、１、２回戦６試合が行われた。青森第１代表の八学光星は２回戦で一関学院（岩手第２代表）と対戦し、５－１で勝利。第３代表の青森山田は１回戦で盛岡中央（岩手第３代表）に４－６で敗れた。

第２日の10日は両会場で２回戦４試合を行う。青森第２代表の工大一は、花巻球場で明桜（秋田第１代表）とぶつかる。試合開始時間は午後０時半の予定。

（千葉達也、大西桂介）

２回戦

一関学院０００ ０００ ００１｜１
八学光星０００ ０１０ ３１×｜５

（一）高橋、石澤、三浦－八嶋
（八）北口－鈴木
▷本塁打　新谷翔、佐々木（八）
▷試合時間＝２時間５分
（球審＝藤木、塁審＝菅野、里見、菅原）

【評】八学光星は五回１死満塁、長野の中前適時打で１点を先制。七回には２単打と犠打で１死一、三塁とし、新谷翔の３点本塁打で突き放した。投げては先発の北口が緩急を付けた投球で八回まで二塁を踏ませない力投を見せた。一関学院は九回に連打と四球で無死満塁の好機をつくったが、犠飛で１点を返すにとどまった。

１回戦

盛岡中央３０２ ０１０ ０００｜６
青森山田０２１ ０１０ ０００｜４

（盛）高橋楓－佐々木
（青）船橋、高橋－坂本、沖野
▷三塁打　安ケ平（盛）藤川（青）▷二塁打　釜崎（盛）▷暴投　船橋（青）
▷試合時間＝２時間11分
（球審＝山舘、塁審＝水野、泉田、長坂）

【評】青森山田は初回に失策や四球などから３点を奪われて流れを失い、盛岡中央に競り負けた。二回に反撃して１点差に追い上げるも、すぐに取り返されるなど試合巧者ぶりが鳴りを潜めた。高橋がロングリリーフで粘りを見せたが、要所で踏ん張りきれなかった。盛岡中央は先発左腕の高橋楓が九回４失点と力投した。

北口力投、光星快勝

不振打線も上り調子

ハイライト

【２回戦・一関学院－八学光星】９回を投げ、８奪三振１失点の力投を見せた八学光星の北口晃大＝花巻球場

投打ががっちりかみ合った八学光星が、２年ぶりのセンバツ切符へ向け、好スタートを切った。仲井宗基監督は「投手を中心に守り勝った。打者も逆方向への打撃ができていた」と納得の表情を浮かべた。

先発北口晃大は試合開始からエンジン全開。「相手打線がスライダーに対して踏み込んで来る」と見るや、直球とチェンジアップ中心の配球に切り替え、凡打の山を築いた。

「自分がゼロに抑えて流れを呼び込みたかった」と北口。四回までパーフェクトなエースの力投に打線も呼応し、五回に待望の先制点が生まれた。

県大会では湿り気味で、５試合平均で打率２割台だった打線も上り調子。二回以降毎回ランナーを出し、犠打でチャンスを拡大するなど、１点への執念を見せた。

五回には下位打線が粘って出塁して満塁とし、先制に成功。七回にも内野安打を足掛かりに犠打と単打で好機を作り、中軸の新谷翔磨につなげた。「東北大会へ向け打撃を強化してきた。下位打線がつなげてくれたので、自分が決める」。２球続きの内角直球を振り抜き、右中間スタンドにたたき込んだ。

北口は準々決勝へ向けて「２日空くので体をケアして、気持ちの面でも準備を整えて臨みたい」と気を引き締めた。

（大西桂介）

【２回戦・一関学院－八学光星】７回八学光星１死一、三塁、新谷翔磨が右中間席に３点本塁打を放ち、４－０とする

【一関学院】打安点振球
鼻山３００３１
⑧鈴木４００００
⑦早坂３０１０００
⑤村井４１０２００
③佐藤３００１００
④本八嶋３２０１００
②八嶋３００００
⑥知花２００００
H太高田１１００１０
１石橋１１００１０
１白澤１０００００
１三浦０００００
１村橋１１０００
犠盗失併残
１０１１３２９５１８１

【八学光星】打安点振球
③菅沼３１０１０
⑥長野４２１１０
⑨新谷翔３１３０１
④北口３１０１０
⑦新谷翔２２００１
８仲里０００００
８7小林４１０１０
7西村０００００
⑦佐々木４１１２２
④鈴木２１１２２
⑤山入端４２０００
犠盗失併残
３０００７２９９５８４

投手回打安振球失
高橋４⅔２０４３１
石澤１⅓９３２１２
三浦１⅓７２２０２

北口９３１５８１１

デーリー東北新聞社提供